

自助・共助の取り組み

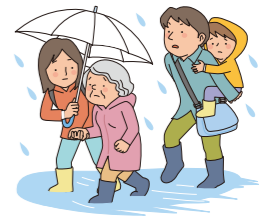
町が全ての被災者をすぐに支援できない場合に備え、まず「自分で」「地域で」対策を!

災害が発生したときは、自分の安全を確保する「自助」があつてこそ、地域や身近にいる人同士で助け合う「共助」が成り立ちます。

まず、自分の命を守ることが大切です。



大切! 避難に関する情報と取るべき行動



避難情報	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
取るべき行動	避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、危険な場所から避難してください。	危険な場所から全員避難してください。	すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!
			危険度大

大切! 非常時の持ち物を準備しましょう

非常時持ち出し品
必要なものをリュックサックなどに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしましょう。

緊急時であっても最低限、持ち出すべきもの

- ・貴重品(預金通帳・印鑑・保険証・免許証など)
- ・携帯電話、スマートフォン、充電器
- ・常備薬、お薬手帳
- ・メガネ、コンタクトレンズ
- ・生理用品、紙おむつ
- ・粉ミルク、哺乳瓶、離乳食
- ・感染対策用品(マスク、消毒液)

避難時の服装

- ヘルメット
- マスク
- 軍手
- タオル
- 長袖の上着
- 長ズボン
- 履き慣れた靴
- リュックサック

備蓄品
災害直後から数日間、自足するためのものです。最低でも**3日分**を用意しましょう。

